



平成 30 年 6 月 21 日

会 報 第 11 号

会津「The13」事業協議会

平成 30 年度 第 1 回 検討会・勉強会

発行：会津「The13」事業協議会

事務局 〒965-0873 福島県会津若松市追手町 5 番 36 号

TEL 0242-29-1910 FAX0242-29-5916 E-mail g-ryohei@adoken.co.jp

この号の内容

- 開催日
 - あいさつ
 - 事業経過報告
 - 検討会・勉強会趣旨説明
 - 検討会・勉強会
テーマ1「木質バイオマス熱供給事業の課題解決実例」
内 容 福井県あわら三国地域で、5 機の木質バイオマスボイラを稼働させ、民間熱供給事業として自立と自律を果たしてきた実例を紹介する。
また、今後会津地域で事業化を遂行するに当たり、想定される具体的な課題を整理・確認する。
講 師 もりもりバイオマス株式会社 取締役 大城 謙治 氏
テーマ2「木質バイオマスボイラ導入計画・設計の実際について」
内 容 対象施設に対しての導入計画、設備設計と構造設計の注目ポイントについて解説する。
施設責任者および地域の関係者に協力いただきたい内容も整理する。
講 師 株式会社 アルファフォーラム 代表取締役 小林 靖尚 氏
 - その他 事務局より
- ## 1 開催日
- 日時：平成 30 年 6 月 18 日(月)13:30～16:30
 - 場所：会津大学 会津大学先端 ICT ラボ(通称:LICTiA) 2F カンファレンススペース 〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合 90 TEL:0242-37-2500
 - あいさつ
 - 事業経過報告
 - 検討会・勉強会趣旨説明
 - 検討会・勉強会
テーマ1「木質バイオマス熱供給事業の課題解決実例」
内 容 福井県あわら三国地域で、5 機の木質バイオマスボイラを稼働させ、民間熱供給事業として自立と自律を果たしてきた実例を紹介する。
また、今後会津地域で事業化を遂行するに当たり、想定される具体的な課題を整理・確認する。
講 師 もりもりバイオマス株式会社 取締役 大城 謙治 氏
テーマ2「木質バイオマスボイラ導入計画・設計の実際について」
内 容 対象施設に対しての導入計画、設備設計と構造設計の注目ポイントについて解説する。
施設責任者および地域の関係者に協力いただきたい内容も整理する。
講 師 株式会社 アルファフォーラム 代表取締役 小林 靖尚 氏
 - その他 事務局より：先進地視察(岡山県真庭市)に実施について

次回スケジュール

2 あいさつ

1. 唐橋理事長の挨拶

日時:平成 30 年 12 月 予定

時間 未定

場所:未定

内容:第 2 回 検討会・勉強会

テーマ 「事業推進を確実なものにするためのワークショップ」

講師 株式会社 アルファフォーラム
代表取締役 小林 靖尚 氏

内容 7~8 人のグループに分かれて、事業推進のためにできること、市町村(行政)と協力して進めたい具体項目をディスカッションする。グループごとの検討結果を発表しその場で共有する。

日程が決まり次第ご連絡いたしますので
よろしくお願いいたします。



平成 30 年度 サポート事業の第 1 回 検討会・勉強会開催を向かえ、我々が実際に取組む川下の熱供給事業についてのノウハウを取得していきたいとのご挨拶をいただいた。

3 事業経過報告

1. 菅家副理事長の事業経過報告



副理事長よりサポート事業の最終年度(3年目)を迎え、事業本来の趣旨説明とこれまでの経緯についてご説明いただいた。

約 13 年前から木材、CLT、バイオマスに着目し、各種プロジェクトを進め、本サポート事業により民間経済団体を主体とした木材利用による地域活性化について皆様と共に検討を進めてまいりましたが、本年度は岡山県真庭市への先進地視察を実施し、更なる検討・実現へ向け進むことを確認すると共に、皆様のご協力をお願いしたい旨お話しがあった。

4 検討会・勉強会趣旨説明

検討会・勉強会趣旨説明に関し事務局より説明

一 昨年は、川上～川下までの全体像を検討し、昨年度は川上部分の人材育成に焦点を当てて検討を進めてまいりましたが、本年度は川下における熱供給事業にポイントを絞り実施する旨説明。

5 検討会・勉強会

テーマ1「木質バイオマス熱供給事業の課題解決実例」

講師 もりもりバイオマス株式会社 取締役 大城 謙治 氏



川下における木質バイオマスボイラ熱供給事業の先進地である福井県あわら市よりもりもりバイオマス(株) 取締役 大城謙治 氏 をお招きし、「木質バイオマス熱供給事業の課題解決実例」と題し業務の意義・業務概要に関し実例を挙げご説明いただいた。

テーマ2「木質バイオマスボイラ導入計画・設計の実際について」

講師 株式会社 アルファフォーラム 代表取締役 小林 靖尚 氏



現在 13 市町村において検討を進めている木質バイオマスボイラー熱供給施設の「見える化」を進める為の検討課題に対し、用途の検討、ボイラー熱量設定(機種選定)、チップ対応、燃料貯蔵施設(サイロ)、貯湯タンク、建屋、関連法令まで詳細な検討方法をご説明いただいた。

6 事務局より

事務局より本年度の検討会・勉強会スケジュールの変更及び先進地視察実施の趣旨説明があった。

1. 検討会・勉強会実施回数の変更
・3 回実施(1 回～3 回) → 2 回実施(1 回、2 回)
2. 先進地視察実施について
・対象者

現在検討中のサテライト(貯木、燃料生産施設:13 市町村内に 4 箇所を想定)設置予定地域における商工会議所、商工会、その他団体の実務担い手を各エリア内団体の協議により各 1 名を選出し計 4 名を対象者とする。

・お願い(先進地視察費用について)

費用:約 96,000 円(予定)

内訳:1/3 約 32,000 円 参加団体負担

2/3 約 64,000 円 補助(サポート事業より)

実務担い手育成を目的としておりますので、各エリア内団体におかれましてはご賛同をお願いいたします。

また、選出団体におかれましては参加団体負担(1/3)がございますので、ご対応よろしくお願いたします。

以 上

会津「The13」事業協議会

平成 30 年度 第 1 回 検討会・勉強会（実施日：平成 30 年 06 月 18 日）

福島民報新聞

平成 30 年 06 月 26 日掲載



熱供給事業の実例を紹介する大城さん（左）

木質バイオマス
事業の課題探る
若松で勉強会

会津地域の循環型産業の在り方を探る会津「The13」事業協議会の検討会・勉強会は会津若松市の会津大で開かれ、木質バイオマス熱供給事業の課題などを考えた。

協議会を構成する商工会議所、商工会、企業などの関係者が出席した。もりもりバイオマスの大城謙治取締役が講師を務め、福井県で五機の木質バイオマスボイラを稼働させ、民間熱供給事業として自立と自律を果たした実例を紹介した。